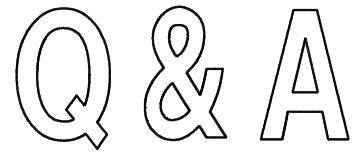


仙台二華中学校・高等学校の学校生活

中高一貫教育と入学者選抜・事務手続き



このQ&Aは、昨年までの学校説明会の際に参加者の皆様から寄せられたご質問に対する回答や、ホームページ上で回答している内容も含め、平成26年7月時点での仙台二華中学校・高等学校の学校生活や入学者選抜等についての概要をまとめたものです。

【中高一貫教育について】

Q1:中高一貫教育の良さはどんなところにありますか。

A:主に、次のような良さがあります。

- ① 6年間の計画的・継続的な教育活動が展開でき一貫した教育が可能になります。
- ② 6年間にわたり生徒を継続的に指導することにより生徒の個性を伸ばしたり、優れた才能を発見したりしやすくなります。
- ③ 中学校1年生から高校3年生までの異年齢集団による活動を行うことにより、社会性や豊かな人間性をより一層育成することができます。
- ④ 高等学校入学者選抜の影響を受けることなく、ゆとりある学校生活を送ることができます。

Q2:全国では、どれぐらいの中高一貫教育校がありますか。

A:平成25年度時点では全国で450校が設置され、そのうち184校が公立の中高一貫教育校です。また、平成26年度以降の設置予定は18校で、このうち公立は全国で7校が開校予定です。(文部科学省「高等学校教育の改革に関する推進状況について(平成25年4月)」より)

Q3:中高一貫教育校には、どんなタイプのものがありますか。

A:次の3つのタイプに分かれます。

- ① 中等教育学校
→中学校・高等学校が一体化した学校で、基本的には中学校1年生で入学した生徒が、6年間同じメンバーで過ごします。
- ② 併設型の中学校・高等学校
→設置者が同一である中学校と高等学校が接続する形で、併設中学校から入学する生徒と他の中学校を卒業して高等学校から入学する生徒がお互いに切磋琢磨し、高め合います。
- ③ 連携型の中学校・高等学校
→設置者が異なる中学校と高校でも可能な形態であり、中学校と高等学校が連携を深めるかたちで中高一貫教育を実施するものです。

Q4:仙台二華中学校・高等学校はどのタイプですか。

A:併設型の中高一貫教育校です。

Q5:仙台二華中学校・高等学校は中高一貫教育校としてどんな資質や能力の育成を目指していますか。

A:6年間を見通した系統的なカリキュラム編成や「地球環境」をテーマとした探究型の学習を通して高い学力や課題解決能力を身に付けさせるとともに、豊かな心やすぐれた人間性を涵養し、世界に貢献できる骨太の人材づくりを目指しています。

Q6: 仙台二華中学校から仙台二華高等学校へは全員が進学できるのですか。その際、選抜試験はありますか。

A: 仙台二華中学校の生徒は、所定の手続きを経て入学者選抜試験なしで仙台二華高等学校に入学できます。

Q7: 仙台二華中学校から他の高等学校への進学はできるのですか。

A: 基本的には併設型中高一貫教育の良さを理解し、6年間仙台二華中学校・高等学校で学びたいという強い意思をもって入学していただきたいと思います。他の高等学校への進学を希望する場合は、仙台二華高等学校には進学しない旨の手続きを行うこととなります。

Q8: 高校入試のない一貫生が中だるみし、のんびりしてしまう状況にはならないのですか。

A: 総合的な学習の時間などで、将来の進路希望について長期的な視点で考えさせたり、中高合同での活動を設定したりするなど、常に目標をもって学校生活を送ることができるよう適切な指導をまいります。

Q9: 高等学校から入学する生徒と仙台二華中学校から進学する生徒は、高等学校のクラスは一緒ですか。

A: 中学校卒業時の学習進度に違いが生じているので、高校1年は仙台二華中学校からの進学者(一貫生)2クラスと、他の中学校からの入学者(高入生)4クラスを別々のクラスに編制します。高校2,3年は文理の別や進路希望に応じたクラスを編制しますので、一貫生と高入生が混合したクラスになります。

Q10: 仙台二華中学校・高等学校から、他の中学校や高等学校への転学・編入学はできますか。

A: 保護者の転勤等やむを得ない事情で転学しなければならない場合には、

- ① 中学校の段階では、各市町村立中学校に転学できます。公立中高一貫教育校への転学については、該当する学校の規定によります。
- ② 高等学校の段階では、通常の高등학교の転編入学と同様の手続きを経て、他の高等学校への転編入学が可能です。

Q11: 仙台二華中学校に入学できなかった場合、地元の中学校への入学に特別な手続きが必要ですか。

A: 特別な手続きは必要ありません。

【仙台二華中学校・高等学校の学習について】

Q12: 仙台二華中学校のカリキュラムの特徴は何ですか。

A: 学力の基礎となる内容を確実に定着させながら、発展的・応用的な内容に進んでいく系統的な教育課程を編成しています。中学校・高等学校ともに1コマ45分の1日7時間、週35コマの授業を行っています。国語・数学・英語は各学年とも週5時間(国語はTMを含める)、つまり毎日学習し、理科・社会についても週4~5時間の授業を設け、標準より多い設定となっています。

また、中学校・高等学校を通し、総合的な学習の時間として「IS(インターナショナル・スタディ)」と「SR(サイエンティフィック・リサーチ)」、「CS(キャリア・スタディ)」を設定し、地球環境をテーマに教科横断的・探究的な学習を行います。さらに、中学校では学校選択教科として、総合的な学習の時間の学習と連動しながら発展的な言語活動を扱い、分析力や判断力、論理的思考力を育成するための「TM(シンキング・メソッド)」を設置しています。

Q13: 仙台二華高等学校が文部科学省の指定を受けたSGH(スーパーグローバルハイスクール)とは何ですか。

A: SGHとは、急速にグローバル化が進む現代において、国際的教養を身に付け、将来国際的に

活躍できるグローバルリーダーを高等学校段階から育成しようとする国の取り組みで、本校では「世界の水問題」に関する国際的な課題研究に取り組みます。

Q14:「総合的な学習の時間」の具体的な内容を教えてください。

A: 国際連合教育科学文化機関(UNESCO)や国際協力機構(JICA)等と連携した学習活動を通して国際的な視野を広げるIS(インターナショナル・スタディ)と、自然のフィールドでの巡検から「研究する」体験までを学ぶSR(サイエンティフィック・リサーチ)、そして将来の夢の実現をしっかり支える進路指導であるCS(キャリア・スタディ)の3領域を設けた本校独自の教育活動です。今年度からはSGHの指定を受けさらにバージョンアップされます。

Q15:教科書は特別なものを使うのですか。

A: 県教育委員会が採択した文部科学省検定済みの教科書を使います。併せて、中高一貫教育校向けに編集された副教材やプリントなども用いて、学力を高めていきます。

Q16:中学校の授業の進め方について教えてください。

A: 授業は学習指導要領に基づいて行います。教科や単元によっては、高等学校の関連する内容を発展的に学んだり、重要な部分にはじっくり時間をとって定着を図ったりします。また、高等学校の教員が中学校で指導したり、中学校の教員が高校で指導したりするなど、中高教員の連携を通して、中高6年間の学習がスムーズに流れていくように学習指導計画を定めています。

Q17:他の中学校から二華高等学校に入学した生徒と二華中学校から二華高等学校に入学した生徒では、学習進度に違いがありますか。

A: 中高一貫教育校では6年間の学習内容を計画的・継続的に指導する中で、教科の系統性を生かし、発展的な内容として高等学校の内容を中学校で学ぶことが認められており、教科によっては、中学校で高等学校の学習内容を一部移行し学習することもあります。仙台二華中学校では本来高等学校1学年で学習する数学Iの3単位中2単位を中学校3学年で履修しています。また、高等学校の学習内容を発展的な学習として取り扱っている教科もあります。

このように、他の中学校から入学した生徒と二華中学校から進学した生徒では、学習進度や学習した内容に違いがあります。これらを補うため、他の中学校から入学する生徒には、授業内容を工夫したり、数学については教育課程を別にして対応しています。

Q18:授業の進め方で「TT方式」とはどんな方法ですか。

A: 複数の教師がチームをつくり役割を分担しながら効果的に授業を行う指導形態で、少人数指導行う場合もあります。現在、二華中学校では、英語の授業において週2時間ALT(外国語指導助手)とのTT方式を取り入れています。また、社会科の授業においても高等学校の教員の専門性を生かすために一部TT方式を取り入れています。

Q19:中学校において少人数学習や習熟度別学習は実施しますか。

A: 一人一人の学力や学習状況に応じた授業を展開するために、中学校3年における数学などで少人数学習や習熟度別学習を実施しています。

Q20:学校と家庭の勉強だけで学力は身に付きますか。

A: 本校では、授業を大切に、家庭学習をしっかり行うことが最も大切であると考えています。予習-授業-復習の学習サイクルを構築させることにより、学力向上を図ります。また、各教科においては個々の生徒の学力状況に応じて、個別の指導や補習も行います。

Q21:勉強に後れをとっている生徒にはどんな対応をしていますか。

A: 勉強に後れが生じないよう、一人ひとりの学習状況や学力をきめ細かく把握しながら授業を進めています。また、学級担任との面談も繰り返し行い、相談に応じたり、助言したりしています。万が一後れが生じた場合には、原因をつきとめ、個別指導や補習などによって、後れを取

り戻すよう努めています。また、基礎的な内容に焦点を当てた実力テストを実施し、その定着度を把握し指導に生かすようにしています。

Q22:1コマの授業時間や週の授業時数はどのようになっていますか。

A:授業は1単位時間45分間とし、毎日7コマ、週35コマの授業を展開することで標準より多い授業時数を確保しています。

Q23:土曜日は休みですか。また土曜日や夏季休業中に活動があるとすればどのような内容ですか。

A:土曜日は基本的に授業を行いませんが、部活動によっては活動する場合があります。(高等学校では必要に応じて課外授業などを予定しています。)また、夏季休業中は、自主学習や部活動、総合的な学習の時間の調べ学習、文化祭の準備などの時間を設定し、活動を行っています。

Q24:世界に向けて視野を広げるために、カリキュラムの上でどんな特徴がありますか。

A:総合的な学習の時間に異文化体験ができるような学習を計画しています。また、中学校2年生でイングリッシュキャンプ、中学校3年生、高校2年生で全生徒を対象とする海外研修を、さらに高校1、2年生の希望者を対象としたアメリカデラウェア州の高校との姉妹校交流事業を実施しています。

Q25:既存の中学校には「職場体験活動」がありますが、二華中学校にはありますか。

A:中学校2年生の総合的な学習の時間の中で2日間の職場体験を行っています。(CS キャリア・スタディ)また、中学校3年生では大学の研究室訪問(スタディ・ツアー)を行っています。

Q26:定期テストや実力テストは年に何回実施しますか。

A:仙台二華中学校・高等学校は2学期制をとっており、生徒の学習状況を細かく評価するために、年間4回の定期考査を実施します。その他に、夏季、冬季の休業後に課題テストや実力テストを行っています。また、中高とも全国的な規模で行われるテストに参加し、客観的に把握した生徒一人ひとりの学力を分析し、日常のアドバイスや継続的な指導に役立てるようにしています。

Q27:図書館の蔵書は中学生向けのものもありますか。

A:中高一貫教育校への移行に向け、開校前から中学生向けの図書を少しずつ購入してきましたが、平成21年度からは、中学校分の図書購入費が予算化されていますので、中学生向けの図書の購入を計画的に進め、読書環境の整備と充実に努めています。

Q28:公開授業などの研究会を行う予定はありますか。

A:平成26年度は10月31日(金)に中高合同の公開授業研究会を行います。

Q29:公立学校なので、教員の異動があると思いますが、教育水準はどのように維持していくのですか。

A:教育方針に基づいて指導体制を整え、教員が異動しても教育水準が維持できるようにしていきます。また、東北大学大学院教育研究科及び宮城教育大学教職大学院と連携して、学校教育システムの研究と評価、改善を継続して行い、教育水準の向上を図る努力をしております。

【仙台二華中学校・高等学校の学校生活について】

Q30:校歌や校章は第二女子高等学校のものから変わったのですか。

A:母体となった第二女子高等学校の校歌、校章を継承しました。ただし、男子が制服に着用する校章の色は黒となります。

Q31:校舎の耐震性やシックハウス問題について、具体的な対策を教えてください。

A:新校舎は、新耐震基準法に基づき建築されています。東日本大震災では校舎の壁にひびが入る等の被害はありましたが、構造上の問題はなく通常の教育活動に支障はありませんでした。また、シックハウスについては、これまで空気測定と化学物質の除去並びに低減に向けて換気や水拭き等の対策を講じてきており、現在は正常値の範囲内で推移しています。今後も引き続き換気の徹底等に留意してまいります。

Q32:校舎に冷房設備はありますか。

A:一部特別教室を除き、普通教室に冷房設備はありません。暑さ対策としては、各教室に扇風機を置き、また、各階に冷水器（ウォータークーラー）を設置しています。

Q33:7階建ての校舎ですが、エレベーター利用のルールはありますか。

A:特にルールは設けていません。来客者が多いときなどは階段を使うことを奨励しています。また、ケガ等の身体的理由で利用が必要な場合は、優先的に利用できるように対応しています。

Q34:全県が学区となりますが、寮の設置やスクールバスを運行する予定はありますか。

A:寮の設置やスクールバスを運行する予定はありません。親元から通学することが望ましいと考えています。

Q35:通学可能な時間の目安としてどのくらいを考えたらいですか。

A:学校として特に通学時間の制限は考えておりませんが、ご家庭でお子様の体力等を考慮して、中高の6年間にわたって通い続けることが可能かどうか、慎重に御検討ください。

Q36:学校まで自転車で通学することは可能ですか。

A:通学は、徒歩並びに公共交通機関の利用が原則ですが、高校生については、自転車による通学を希望する生徒は、届け出による許可制としています。中学生については、交通量の激しい学校周辺の立地事情を考慮し、自宅から学校まで直接自転車で通学することは禁止していますが、自宅から最寄りの公共交通機関の駅等までの自転車通学を希望する場合には、保護者からの届け出により許可しています。

Q37:通学のための公共交通機関にはどのようなものがありますか。

A:学校はJR仙台駅から徒歩15分、地下鉄五橋駅から徒歩7分のところにあります。また、名取市、太白区方面からの仙台市営バスや宮城交通バスの大半は、五橋停留所に停車し、そこから徒歩7分です。

Q38:仙台二華中学校・高等学校の母体校は女子高ですが、実際の合格者の男女比に偏りがあった場合は、クラス分けはどうなっていますか。

A:中学校は男女混合でのクラス編制を行っています。高等学校については、体育の授業が展開しやすいように、平成26年度は男女混合のクラスを高校1年生は3クラス、2年生は4クラス、3年生2クラスとし、他は女子のみのクラスにしています。

Q39:中学校の1クラスの人数は何人ですか。また、クラス替えはどうなっていますか。

A:平成27年度から3学年とも1クラス35名の3学級編制（全校では9学級、生徒数が315名）となります。クラス替えは毎年行います。

Q40:携帯電話に関してどのようなルールがありますか。

A:中学生については、文部科学省の通達も踏まえ、携帯電話に関する規定をあらかじめ定め、携帯電話の校内への持ち込みは原則として禁止していますが、遠方からの通学等、やむを得ない事情で校内に持ち込むことを希望する場合は、保護者からの申し出により許可しています。その場合も、朝のSHRで学級担任に預け、校地内での使用はメールも含め、禁止しています。高校生については、携帯電話を校内に持ち込むことに関して、許可の申請は必要ありませんが、校内では必要のない限り電源を切っておくというルールを定めています。

Q41: 中高では、始業時刻は違いますか。また、授業の開始、終了時刻と部活動の終了時刻はどうなりますか。

A: 中高とも始業時刻は8時30分ですが、10分前までに登校し、中学生は朝の読書、高校生は朝の自主学習に取り組むことにしています。授業の開始、終了は基本的に中高共通です。なお、中高それぞれの下校時刻は次のとおりに設定しています。

	時 期	部活動終了	下校時間
中学校	4月～3月	17:45	18:00
高等学校	4月～3月	18:00	19:00

* 体力差や通学の負担を考慮して下校時刻は中高別の設定としています。
(中学校1年生は4月中は17時下校です。)

Q42: 二華中学校の入学選抜や進学に際して必要な経費について、具体的な金額を教えてください。

A: 受検の際は選抜手数料として2,200円が必要です。入学金や授業料はありませんが、制服代や体育着代、副教材費等の他、海外研修積立金が必要となります。なお、平成26年度入学生制服等の費用は次のとおりとなっています。

【参考資料】(この表は消費税5%となっており、平成27年度入学生は消費税8%となります。)

	品 名	単 価		運動着関係 (指定品)	単 価
男 子 用	男子上着	23,200	共 通	スタンド衿半開ジャケット	4,515
	男子スラックス	11,500		ストレートパンツ	3,465
	長袖シャツ (指定)	4,400		Tシャツ	2,100
	夏用スラックス	9,800		ハーフパンツ	2,520
	半袖シャツ (指定)	4,200		Tシャツ (綿100%, 希望購入)	2,520
女 子 用	女子上着	21,200		上 靴	4,200
	スカート	12,800		体育館用シューズ	3,950
	長袖ブラウス (指定)	4,500			
	夏用スカート	12,000			
	半袖ブラウス (指定)	4,400			
*セーター: 4,700 ベスト: 3,700			*セーターは指定品の購入、ベストは希望者のみの購入となります。 *女子生徒で、事情によりスラックスの着用を希望する場合は、制服と同じ生地のもの着用に許可します。 *中学生のカバンについては、学校として特に指定品、推奨品はありません。用途やお子様の体格に応じて、体に負担のないものを保護者の判断で選んでいただくこととなります。		

Q43: 海外研修の日程・経費と、毎月の積み立てはそれぞれどれくらいになりますか。

A: 中学校3年生の海外研修は、海外(4泊5日程度)を予定しており、旅行代金は概算で20万円程度を想定しています。これまでの研修旅行では費用については月々の積み立て等により計画的に集金をしています。なお、渡航手続諸費用(パスポート代等)や任意の旅行保険料等は旅行代金に含まれておりません。

Q44: 海外研修はどんなことをねらいとして実施しますか。

A: 総合的な学習の時間に実施したIS(インターナショナル・スタディ)のまとめとして他国の文化に触れる国際交流学習とおした生徒の英語力・国際理解力の向上を、またSR(サイエンティフィック・リサーチ)のまとめとして実施します。また、中学3年生という多感な時期に世界を見聞することは、国際的な視野を広げ、自国の文化や伝統を見直す契機ともなり、本校の教育方針であるグローバルリーダーの育成に不可欠な教育活動と考えています。

Q45:高校生で1年間留学した場合、帰国後の進級の扱いはどうなりますか。

A: 留学先の学校の単位が本校の単位として認められるかどうかで扱いが変わります。随時御相談に応じます。

Q46:中学校で給食は実施しますか。

A: 仙台二華中学校では、弁当の持参を奨励し、中学校では牛乳のみを提供するミルク給食を実施しています。弁当を通じて親子の絆を強め、食について考え行動してほしいとの願いからです。なお、牛乳に対してアレルギー等のある生徒については随時相談に応じます。お弁当を準備できない場合には、食堂のテイクアウト弁当を購入することもできます。

Q47:部活動には必ず入らなければならないのですか。

A: 中学校、高等学校での部活動は豊かな人間性を養うための重要な教育活動であると考えていますので、全員少なくとも1つの部に所属することとしています。

Q48:中学校における平成26年度の開設部活動は？
また高等学校の男子はどんな部活動に入部していますか。

A: 平成26年度の開設部活動及び平成26年5月現在の中学生の部活動入部状況は次のとおりです。

	1年			2年			3年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 サッカー男子	14	0	14	2	0	2	4	0	4	20	0	20
2 ソフトテニス	10	6	16	12	6	18	10	4	14	32	16	48
3 バドミントン	2	8	10	0	9	9	0	4	4	2	21	23
4 卓球	7	3	10	1	4	5	4	2	6	12	9	21
5 ハンドボール女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 バレーボール	0	5	5	0	0	0	0	1	1	0	6	6
7 バasketボール女子	0	5	5	0	8	8	0	2	2	0	15	15
8 新体操女子	0	5	5	0	4	4	0	5	5	0	14	14
9 陸上	3	4	7	4	3	7	6	4	10	13	11	24
10 水泳	5	0	5	6	0	6	0	0	0	11	0	11
11 ソフトボール女子	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
12 剣道	1	2	3	1	3	4	1	3	4	3	8	11
13 音楽	2	4	6	0	13	13	1	6	7	3	23	26
14 美術	1	1	2	0	6	6	1	5	6	2	12	14
15 書道	1	2	3	0	11	11	0	4	4	1	17	18
16 自然科学	11	3	14	11	0	11	8	2	10	30	5	35

また、平成26年5月現在の男子高校生(144名)の主な部活動入部状況については次のとおりです。運動部に85名、文化部に59名が入部しています。

- (1) 運動部の入部者数: サッカー(17) 弓道(14) ソフトテニス(12) 陸上(7) ワンゲル(3) 水泳(7) バドミントン(4) 卓球(9) 剣道(4) バasketボール愛好会(8)
- (2) 文化部の入部者数: フォークソング(12) 物理(9) 文芸(3) 被服(1) 化学(13) 生物(3) 写真(4) 地学(4) 美術(3) 英語(1) 調理(1) 書道(1) 放送(4)

Q49:今後、野球部の設置は予定していますか。

A: グラウンドの問題等もあり、野球部については現時点で中高ともに設置予定はありません。

Q50:部活動については、どのような活動を目指すのですか。

A: 中学校、高等学校での部活動は豊かな人間性を養うための重要な教育活動の場であると考えて

います。中学生については、7時間授業の実施や下校時間の関係で、放課後十分な時間を確保することが難しい日もありますが、限られた時間の中で集中して練習に取り組み、部員同士や異年齢集団での交流を通して、豊かな人間形成に資する場にしたいと考えています。

Q51:中学生の部活動は、高校生と一緒に活動することになりますか。

A:中高一貫教育校の良さを生かすために、中学校・高等学校の部活動が一体化した活動を行う方針のもとに部活動を運営しています。運動部では中学1年生から高校3年生までとなると技術や体力の面でも相当の差があるので、それぞれに活動する場合もあるのですが、どの部も合同で練習したり練習の一部を高校生と一緒に رفتりするなど中高一貫教育校の良さを生かそうとしています。

Q52:部活動の公式対外試合や発表会など、他の公立中学校と同様の大会等に参加できますか。

A:運動部については、中学校体育連盟に加盟し、他の公立中学校と同様の大会等に参加します。

Q53:高等学校部活動への早期入部制とはどのような制度ですか。

A:一般の中学校では、中学校3年生の最後の大会やコンクールを契機に部活動を退くこととなりますが、本校は中高一貫教育校の特色の一つとして、高校入試がありません。そのために、中学校の部活動を退いた生徒は所定の手続きを経て高等学校の部活動に早期入部することができます。この早期入部制度により、部活動の空白期間がなくなり、自分の個性を伸ばせる部活動を継続して続けることが可能になります。中総体終了後は仮入部、10月から正式な早期入部となります。早期入部後も活動時間など中学校の部活動のルールの中での活動となります。また、高等学校入学後は新たに部活動に入部することとなります。

Q54:学校行事はどのようなものがありますか。

A:第二女子高校時代から実施している合唱コンクールや文化祭、体育大会などの伝統的な行事を継承しながら、男女共学校として中高一貫教育校として様々な工夫をしながら新たな伝統を創り上げています。生徒が中心になって行事を企画し、中学校・高等学校の生徒が一緒になって参加し毎年大いに盛り上がりを見せています。こうした行事に中学生も合同で取り組むことにより、高校生の先輩とかかわりあい、行事への取組を通じた人間的成長が期待できます。また、中学生の縦割り活動も取り入れ、上級生のリーダー性の向上にも努めています。

Q55:高校も含めた中高の先輩、後輩の関係はどのようなものですか。

A:一般の中学校と同様、3年生は中学校の最高学年としての自覚を持ち、手本となって1、2年生をリードしています。また、高校生も行事や生徒会活動、部活動など、さまざまな場面で中学生に手本を示し、尊敬する先輩として交流しサポートしてくれています。

Q56:仙台二華中学校の教員は仙台市立の教員になるのですか。それとも高校の教員になるのですか。

A:仙台二華中学校は県立中学校なので、基本的に教員は仙台市を含めた県内の公立中学校教員となります。また、中高一貫教育校の特性として、中学校の教員と高等学校の教員が相互に乗り入れて授業等を行っており、高等学校の教員が中学校で教える場合もあります。

Q57:教員数は他の公立に比べて多いのですか。

A:義務教育学校の教職員定数は法律により定められており、それに基づいた教職員数となります。

Q58:PTA組織はどうなっていますか。

A:名称を「仙台二華中学校・高等学校PTA」とし、中高の組織を一体化して活動しています。また、中学校PTAは仙台市PTA協議会に所属して活動するなど、中学校独自の活動にも意欲的に取り組んでいます。

Q59:同窓会組織はどうなっていますか。二女高同窓会と統合したのですか。

A:従来の同窓会（二華会）の組織がそのまま継承され、仙台二華中学校及び仙台二華高等学校の卒業生はそのまま正会員となります。なお、在學生（中学生・高校生ともに）は準会員となります。

【仙台二華中学校・高等学校の進路指導について】

Q60:進路目標の達成のために、特別な指導は行いますか。

A: 仙台二華高等学校では、大部分の生徒が大学進学希望であることから、多様な学部・学科はもちろん、医歯薬系学部など難関大学入試に対応した教育課程を編成しています。また、通常授業に加え、放課後や土曜日の課外授業、長期休業中の課外や学習会、個別小論文指導等も行っています。これらの指導を継続していきながら、さらに、中学校においても中高一貫教育の特色を生かし、総合的な学習の時間等において6年間を見通した系統的な進路指導を行うとともに、個別面談の充実などにより、一人ひとりの意欲を高め、進路目標の確実な達成を目指します。

Q61:学校の勉強だけで大学受験に対応できますか。

A: 母体校の第二女子高等学校では、難関大学にも現役で合格させる指導法を蓄積し、県内屈指の大学現役合格者を誇っていました。質の高い授業と、一人ひとりの進路希望を支援するシステムが整っており、仙台二華高等学校でもこれを継続しています。

Q62:国外の大学への進学指導は行いますか。

A: 本校は21世紀の国際社会をリードする人材の育成を目指しています。国際社会で通用する人間性と学力を育むための努力は惜しみません。

Q63:卒業生の進路状況は、どうなっていますか。

A: 仙台二華高等学校のホームページに卒業生の進路状況を掲載しています。大学への進学が中心となっています。

【仙台二華中学校の入学選抜について】

Q64:どのような児童に志願してほしいですか。

A: 仙台二華中学校の校訓や教育方針、教育目標についてよく理解し、自分に向いているか、通学時間も考慮して6年間通えるかなど、将来を見据え、しっかりとした目標をもった児童に志願してほしいと考えています。

Q65:募集定員は男女別ですか。

A: 男女別の定員枠は設けておりません。

Q66:学区や、通学時間の制限はありますか。

A: 学区は県内全域です。通学時間の制限はありませんが、通学に伴う体力的、精神的な負担や6年間通うこと等を考慮し、出願するかどうかを判断してください。

Q67:6年間通うことを前提とすると、遠方の受検者は条件が不利ですか。

A: 通学の可能性については本人と保護者で判断してもらうものであり、受検者の通学距離が入学決定に影響することはありません。

Q68:他の中高一貫教育校と併願することはできますか。

A: 県内の他の公立の中高一貫教育校と併願することはできません。具体的には、古川黎明中学校や仙台市立仙台青陵中等教育学校との併願はできません。

Q69:宮城教育大学附属中学校や私立中学校との併願はできますか。

A：併願はできますが、各学校の選抜方針に基づいて手続き等を行う必要があります。

Q70:入学者選抜はどのような方法で行われますか。

A：平成25年12月に発表された「平成27年度県立中学校入学者選抜方針」に基づき、適性検査として「総合問題」、「作文」、「面接」を行います。

「総合問題」とは、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみるものです。

Q71:選抜に備えて身に付けておかなければならないのは、どのようなことですか。

A：まず、小学校の授業を大事にして小学校の学習内容をしっかり身に付けてください。また、校内外の活動に積極的に参加することも大切なことと考えています。

Q72:好奇心や探究心は備えていますが、小学校の学習だけで足りるのでしょうか。

A：小学校の授業を大事にして小学校の学習内容をしっかりと習得し、粘り強く取り組む学習態度を身に付けることが大切です。さらに好奇心や探究心が読書や自由研究、様々な活動に生かされ、自ら考え表現する力が次第に育まれ、総合的な学習力に発展していくものと考えます。

Q73:倍率が高くなった場合、抽選で入学予定者を決定することはありますか。

A：「平成27年度県立中学校入学者選抜方針及び概要について」の中で、「入学者の選抜に当たって、調査書及び適性検査（総合問題、作文、面接）の結果を資料として、出願者の能力や適性等を総合的に判断する。（一部抜粋）」としております。したがって、抽選によって、入学予定者を決定することはありません。

Q74:仙台二華中学校への推薦入学の制度はありますか。

A：県立中学校では推薦による入学者選抜は実施しません。

Q75:仙台二華中学校の入学者は、どのような方法で決定しますか。

A：小学校からの調査書、適性検査（総合問題、作文、面接）の結果を資料として、能力や適性等を総合的に判断します。

Q76:総合問題・作文・面接・調査書の点数の比率をなぜ公表しないのですか。

A：配分比率等については、選考の過程であると考えていることから公表しないこととしています。

Q77:総合問題の問題数と検査時間を教えてください。

A：適性検査問題の内容についてはお答えできません。検査時間については、総合問題を60分間、作文を40分間で実施します。

Q78:作文の検査時間と解答の字数を教えてください。

A：作文問題の内容についてはお答えできません。作文の時間については、40分間で実施します。字数については平成26年度入学者選抜では400字以上500字以内で書く問題でした。

Q79:面接の時間と実施方法(児童の数、面接官の数、質問内容等)を教えてください。

A：平成27年度入学者選抜の面接の実施方法については、現在検討中です。

Q80:面接では、どんなことが質問されますか。

A：「平成27年度県立中学校入学者選抜方針」では、「面接は、志願理由書を参考資料として、

志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。」としています。この方針に基づいて今後、検討していきます。

Q81:受検に関して、一連の流れの中で保護者が参加することもありますか。

A:受検するのは児童本人のみで、面接も含め、保護者が参加することはありません。

Q82:検査中、体調が悪くなり退室した場合、回復後、検査は続けて受けられますか。

A:体調が思わしくない場合には別室で受検することも可能ですが、検査は時間内のみとなります。

Q83:学校説明会は本年度は8月の1回のみですか。

A:平成26年度は8月2日(土)に行う説明会1回のみ開催となります。なお、8月30日(土)午後、8月31日(日)全日の文化祭一般公開(予定)の際に、校内に相談コーナーを設け、8月の説明会に参加できなかった方への資料配布や個別の説明を行う予定にしております。

以下は、「平成26年度宮城県立中学校入学選抜募集要項」を参考にして、作成したのですが、現時点で明らかになっている部分については平成27年度の募集についてお答えしてあります。

【仙台二華中学校の出願・事務手続きについて】

Q84:出願する時には、どのような書類を提出するのですか。

A:すべての出願者は、次の書類を提出してください。

- (1) 入学願書(宮城県収入証紙〔2,200円分〕をはってください。)・受検票
※収入印紙と間違えないよう注意してください。
- (2) 写真票(出願者の上半身の写真1枚をはってください。縦4cm×横3cm)
- (3) 志願理由書
- (4) 受検票送付用封筒
- (5) 結果通知用封筒
- (6) 調査書(在籍学校長が作成し、厳封したもの)

なお、県外からの出願者は、上記(1)～(6)の他に、県外からの出願承認書を提出してください。

Q85:出願書類の書き方等について教えてください。

A:

- (1) 入学願書・受検票
 - (2) 写真票
 - (3) 志願理由書
- } (省略)

県立中学校に志願する理由等を、出願者が自筆でペン書き(黒)をしてください。

- (4) 受検票送付用封筒
選抜募集要項にはさみ込まれている封筒を用い、郵便番号、保護者住所、保護者氏名、出願者氏名を記入の上、指定の金額の切手をはってください。
- (5) 結果通知用封筒
選抜募集要項にはさみ込まれている封筒を用い、郵便番号、保護者住所、保護者氏名、出願者氏名を記入の上、指定の金額の切手をはってください。
- (6) 調査書
在籍する学校の担任の先生に、作成を依頼してください。

Q86:出願の方法や注意すべき点について教えてください。

A:

(1) 出願方法

直接、仙台二華中学校・高等学校内の受付窓口を持参するか、仙台二華中学校長あて郵送で提出してください。

郵送で出願する場合は、選抜要項にはさみ込まれている角型2号封筒を用い、出願者及び保護者の氏名、現住所を記入の上、必ず「簡易書留速達」で送付してください。

(2) 出願期間

仙台二華中学校・高等学校内の受付窓口での受付期間及び時間は以下のとおりです。

○ 平成26年12月1日(月) (午前9時から午後4時まで)

○ " 12月2日(火) (午前9時から午後4時まで)

○ " 12月3日(水) (午前9時から午後4時まで)

○ " 12月4日(木) (午前9時から午後4時まで)

○ " 12月5日(金) (午前9時から午後3時まで)

また、郵送の場合でも、12月5日(金)午後3時必着としますので注意してください。

Q87:出願者の写真はスピード写真でもさしつかえありませんか。

A:出願者本人であることが確認できれば、証明用のスピード写真でも結構です。また、カラーでも白黒でもかまいませんが、無帽で正面を向いた上半身の写真にしてください。

Q88:宮城県収入証紙はどこで取り扱っていますか。

A:宮城県収入証紙は、次のところで取り扱われています。

○ 県庁中央売店・県合同庁舎売店

○ 各県税事務所

○ 県内各金融機関(七十七銀行、仙台銀行、宮城第一信用金庫、杜の都信用金庫など)

ただし、郵便局では取り扱っていませんので注意してください。なお、県外については、七十七銀行各支店で取り扱っています。

Q89:身体に障害がある等の場合は、検査にあたって配慮してもらえますか。

A:総合問題や作文、面接を行う際に、特別な配慮が必要と思われる場合は、まず在籍する小学校や特別支援学校等の校長先生に相談してください。

配慮が必要な場合には、校長先生等から提出された受検上の配慮申請書の内容に基づいて県教育委員会と協議し、必要に応じて対応することになります。

Q90:海外帰国者等が受検する場合、何らかの配慮を受けられますか。

A:基本的には、上記「身体に障害がある等の場合」に準じた取扱いになります。

Q91:選抜結果の発表はどのように行いますか。

A:選抜結果は、すべての受検者に対して選抜結果通知書を郵送する方法で発表します。発表日になっている平成27年1月16日(金)の午後4時に親展文書で送付します。

Q92:入学予定者になった(合格した)場合、どのような手続きが必要ですか。

A:

(1) 入学確約書の提出

入学予定者の保護者は、入学確約書を入学予定先の県立中学校長に、平成27年1月20日(火)から1月23日(金)午後3時までに提出してください。提出方法は、持参でも郵送でもかまいません。郵送の場合は簡易書留速達とし、期限内に必ず届くように余裕をもって

発送してください。

なお、入学確約書を期限内に提出しない入学予定者は、入学を辞退したものと見なされますのでご注意ください。

(2) 市町村教育委員会への届出

入学意思が確認された後、県立中学校長は直ちに入学許可予定者証明書を交付しますので、速やかに居住する市町村の教育委員会に同証明書を持参して当該市町村立中学校に入学しない旨を届け出てください。

Q93:欠員の補充はありますか。また、手続きはどうなりますか。

A：入学予定者の発表後、平成27年1月23日（金）までに、入学確約書の提出者が募集定員に満たなかった場合は、欠員の補充を行います。その場合、補欠入学予定者の保護者には、1月26日（月）から2月6日（金）までの間に、電話で直接入学意思を確認する場合があります。またその際に、その後の手続きの仕方等についても、説明します。

Q94:志願理由書の志望動機の欄は、子どもが書くのですか、保護者が書くのですか。

A：志願者（子ども）本人が自筆で書くものです。

Q95:調査書には何年生の成績が記入されますか。小学校で転校した場合、前の学校の成績も必要になりますか。

A：5、6年の成績が記入されます。転校した場合は、現在の学校で前の学校から送付された成績も把握しているので、心配はいりません。なお、調査書の様式は、10月以降宮城県教育委員会高校教育課のホームページでご覧いただくことができます。小学校の先生に作成を依頼し、小学校から受け取った調査書は、厳封されています。出願者本人や家族が、出願前に開封してしまった場合は無効となりますので注意してください。

Q96:郵送書類は「書留」にしたほうがよいですか。

A：「簡易書留速達」で提出してください。なお、締切りが全て「必着」となっていることにご注意ください。

Q97:志願者が多い場合、検査場はどうなりますか。

A：検査場は宮城県仙台二華中学校・高等学校（若林区連坊）を予定していますが、志願者が多い場合は他の会場を使用することもあります。その場合は受検票を送付する際に連絡します。

Q98:書類に記入する姓は、日常使用している方でかまいませんか、それとも戸籍上のものとなりますか。

A：戸籍に記載されている原本どおりに記入してください。

Q99:書類の記入の際に間違ってしまった場合は、どのようにすればよいですか。

A：誤記入の部分に二重線をひき、その上に訂正印（あるいは入学願書に使用した印）を押し、訂正事項を書き加えてください。ホワイトコレクター（修正液）等は使用しないようお願いいたします。志願理由書の場合は、書き誤った部分を二重線で消して訂正してください。訂正印は不要です。